

あとがき

今年度が1回目となる水辺のまちづくりプロジェクトの成果が本叢書においてまとめられている。本プロジェクトが計画された発端は、愛知大学と交流ある蟹江町が河川を活用したまちづくりを考えているということで、まず水辺を利用したまちづくりで名声の高い九州の柳川市、ついで千葉県香取市を視察することにした。3つの地域を同時に比較することは難しいが、ここでは各メンバーの研究分野の観点から、まちづくりに関する豊富な内容となっている。

本叢書が、まちづくりに携わっている方々のお役に立てれば幸いである。